

西川町 議会だより

町民カヌー大会

2011.10.15 78号

発行 山形県西川町議会

議会報告会	町内13地区で意見交換	2
追跡調査	新しい図書館について	6
9月定例議会		8
	決算認定、補正予算 選挙管理委員 決算審査特別委員会	
一般質問	7人の議員が一般質問	14
臨時議会	西川小グラウンド・プール工事	21
	古道シリーズ②『道智通りの歴史』	24

町内13地区で意見交換

7月25日から8月4日までの間、町内13地区を、2班に分かれて議会報告会を開催しました。

この報告会は昨年から実施し、今年で2回目となります。議会から報告するとともに、町民から議員活動や町政に対する意見や提言、ご要望等をいただき、有意義かつ貴重な発言が出されました。

各地区から出された意見を集約すると、右の表になりました。

議会として、課題解決のため10月21日にさっそく現地調査を実施することにしました。

これからも事実確認を行い、改善解決に向けた議会活動を展開していきます。

- 第三セクター… 19件
- 議会…………… 16件
- 防災…………… 17件
- コーポ睦合… 12件
- 雪対策………… 10件
- 図書館………… 8件
- 道路改良………… 5件
- 統合小学校… 5件
- 地域支援………… 5件
- 閉校…………… 4件
- 人口減少………… 3件
- 光ケーブル… 3件
- 町有林…………… 3件
- 公共施設………… 2件
- 観光…………… 2件
- 地域管理………… 2件
- 宅地造成………… 2件
- 就労…………… 2件
- 原発…………… 2件
- 林業…………… 2件
- 獣害（熊）… 2件
- 入湯税…………… 1件
- 定住対策………… 1件
- 直売所への要望… 1件
- 農協への要望… 1件
- 行政対応………… 1件
- 気象情報………… 1件
- 子育て支援… 1件
- 産業…………… 1件
- 町への要望… 1件



西川町総合開発株式会社

要望 接客レベルを上げてほしい。お客の話を傾け、お客の立場で接客してほしい。

要望 料理のレベルを上げてほしい。客層にあった料理を工夫してほしい。西川町らしい山菜など。

要望 第一番に経営陣と経営方針を変えないとだめだと思う。

要望 社員教育も含め、人的マイナス要因を減らすと良くなると思う。

答 経営については、副町長を専務とし特命部長も配置し対応しているが、議会としても産業建設常任委員会でも十分検討していきます。

答 接客や料理については、西川町総合開発株式会社へ伝えます。

第2回 議会報告会

株式会社米月山

要望 「月山まんま」のネーミングを考えるべきだ。健康志向でもっと売れるように、西川町の黒米を配合して彩りを良くし、健康に良いイメージの名前にするなど。

要望 米は値段が高くてても売れるが、おいしくない物は売れない。その辺も少し考えていくべき。

答 議会では、産業建設常任委員会で十分検討していきます。

災害対策

要望 ダムの決壊が心配だし、多雨の時、放水する際の連絡方法や警報機の充実を検討してほしい。

答 放流警報装置の警報音は、停電になって2時間はバッテリーで動作するそうです。

要望 村山地方にも活断層があり、ダムの設計震度5では不安だ。今回の震災でロックヒルダムが決壊し被害が出た。

答 福島県の決壊したロックヒルダムは、農業用水ダムで寒河江ダムとは強度が違います。議会としても、寒河江ダムの安全性を確認するため視察研修を行います。

要望 ダムの決壊を想定し、小学校児童の避難を考慮すべきだ。

要望 防災組織について構想があるのか。

要望 停電でも連絡ができるよう防災無線の充実化を。

要望 避難所に自家発電設備を置いたらどうか。防災に対する対応については、総務厚生常任委員会で検討し、早急に解決できるように進めていきます。

要望 町に発電所があるのに優先的に通電する契約はできないのか。

答 町と東北電力は災害時の協力協定を結んでおり、病院や役場、消防署等の拠点施設への復旧を優先することになっています。

要望 災害時における国道・県道の橋の補強対策や、地すべり崩落対策はどうなっているのか。

答 国道の対策は進んでいる。町では去年から調査をしています。

要望 震災後政府は、防災上小学校を高台に建てるよう指導している。統合小学校を低い場所に建

要望 安心して暮らすには、雪対策が必要。

要望 町には水が豊富にあるのに水利権の問題で活用できない。河川の水が利用できる流雪溝づくりを進めてほしい。

要望 町道から離れている世帯の、町道でない道路も除雪してほしい。

要望 企業誘致なども考えて、人口の流出を止めてくださるよう議会

要望 人口や世帯数が減少の中で宅地造成されるが、売れる見通しは立っているのか。

要望 宅地造成された土地を、町を捨てた職員が担当して売り切れるのか。こんなことでは人が集まらないと思う。

答 職員も意識を持って働いております。

要望 人口問題や雪対策も含め、産業建設常任委員会で十分検討します。

要望 震災について、町民の声を聞いて県や国に訴えてほしい。議員と町が協力して進めるべきと思うが。

答 議会として、県や国に対し要望書を提出しています。

要望 震災時における国道・県道の橋の補強対策や、地すべり崩落対策はどうなっているのか。

答 国道の対策は進んでいる。町では去年から調査をしています。

要望 震災後政府は、防災上小学校を高台に建てるよう指導している。統合小学校を低い場所に建

要望 安心して暮らすには、雪対策が必要。

要望 町には水が豊富にあるのに水利権の問題で活用できない。河川の水が利用できる流雪溝づくりを進めてほしい。

要望 町道から離れている世帯の、町道でない道路も除雪してほしい。

要望 企業誘致なども考えて、人口の流出を止めてくださるよう議会

要望 人口や世帯数が減少の中で宅地造成されるが、売れる見通しは立っているのか。

答 住宅建築でも支援事業を行っていきたい。

要望 宅地造成された土地を、町を捨てた職員が担当して売り切れるのか。こんなことでは人が集まらないと思う。

答 職員も意識を持って働いております。



積極的、具体的な意見続出！

林業

要望 町有林があるが、木材価格が低迷し林業経営が成り立たない。貸付料の減額をしてほしい。

要望 林道・作業道で町と区の管理があるが、区の管理は高齢者が増えて大変になってきている。移動式刈払い機を町で購入し、区に貸付できないか。

答 貸付料については、町有林運営委員会等で検討しております。刈払い機の運転は、技術が必要であり、簡易にはできません。

調査も実施している。

観光

要望 観光総合案内や観光に関する職員は長年続けられるエキスパート的な人を配置していただきたい。

要望 専従職員を置き、独立して成功している観光協会がある。西川町でも広く公募して雇用してはどうか。

答 決算特別委員会町に要望しました。

要望 入湯税は目的税なので源泉を保護するために使って頂きたい。

答 内容について検討させていただきます。

公共施設等

要望 町民体育館の入口改修はこれからするの

答 体育館の修繕あるいは改修については今後検討会を設けます。

要望 保育料の値下げについて検討して欲しい。

答 保育料は、西村山管内の平均より安いので、値下げは現在のところ考えていません。

産業振興

要望 農業振興政策について町で進めて下さるのはありがたいが、もう少し販売先の開拓をしてほしい。山菜の値段などは高いと言われるが、私たちは特徴ある山菜を頑張って作っている。直売農業の共同出荷などにもっと研究してほしいし、品質と市場調査をしっかりとしてほしい。

要望 町の産業を重点的に取り組むというが、具体的なものが出ているか、町と議会で見守れるか、町と議会で真剣

に議論してほしい。

要望 企業誘致は難しい。地場産業の育成が必須と思うが。

答 議会としても、常任委員会ですっきりと協議いたします。

光ケーブル

要望 光ケーブルができ早くなったが、使用料が遠い地区は高い。町民一律の料金にできないか。

答 光ケーブルの使用料は一律です。料金が少々異なるのは、テレビ地デジ対策のために光ケーブルを利用している地域ですが、高額とならないように町内の料金の平均値を上限とした料金設定にしています。

要望 若者定住の一環として、若い人の入居の促進や町外にいる町出身の若者を呼べないものか。

答 コーポ睦合へ震災被害者を受入れられないのか。町の働きかけはあるのか。

コーポ睦合

要望 コーポ睦合の購入について当初否決され、

その後全員賛成になった経緯を聞かせてほしい。

答 否決されたという事実はありません。コーポ睦合の購入については、3月議会で初めて購入の提案がされました。そして、全員賛成で可決されています。

要望 家賃を安く設定してはどうか。

答 家賃は決定したばかりであり、今後の入居状況や隣接市町の動向もみながら検討していきます。

要望 入居者の選定については条例があることから、基準どおりに進めていくことになりません。また、被災者に働きかけていますが、置賜に集

また、被災者に働きかけていますが、置賜に集

中しているようです。

統合小学校

要望 統合小学校から寒河江川へ降りる車道が作られたが、危険ではないのか。

また、統合小学校の川に下りる道路の樹木について、当初残すと説明をしたが、その後伐採されたのはなぜか。

答 体育館側の取り付け道路は、上げ口のところか、カヌースラロームの会場になっていることもあって、高瀬橋から西川中学校までの河川左右の護岸整備を県にお願いしてきました。

吉村知事になってから調査、測量をした結果、当面の工事として統合小学校から河川につながる道路の部分に、工事用出入口を作ることにし、県で河川管理用道路として、自然石を使った護岸整備を行うことになりま



した。また作業道路に支障が出たため、残した樹木も伐採することになったものです。統合小学校下流はカヌー競技会場に

もなるところで、自然教育にも使える道路となります。

議会

要望 議会は活性化しているが、一般質問では

町の回答を得るために、もっと厳しい質問をしてほしい。

要望 一般質問について、町民が知りたい内容の問題をもっと深めてほしい。

要望 議員同士が話し合い、議会のレベルを上げて町民の声に答えてほしい。

答 議員一人ひとりが更に努力していきます。

要望 女性議員が一人出たが、女性や若い人が出られるように研究してほしい。

答 報酬や定数の問題があるので、若い方

が立候補できる体制について検討します。

要望 議会中継をインターネットで流しているが、ネットのできない老人に対して対応を考慮してほしい。

答 高齢者も扱える機器等について町と検討します。

要望 議会に、与党と野党はあるのか。皆同じでは一方的にならないか。オール与党ではなく、個々の政策について十分に議論を尽くしてい

ます。
要望 議員数を16人から10人に減らしたが、仕事が大変ではないのか、今後4年間で検討したらどうか。
答 議員定数は少ないと思いますが、平成19年に定数削減したばかりであり、今後の課題とします。

■各地区のみなさんの参加状況

期 日	地 区	参加人数
7月 25日	志 津	5人
	睦 合	15人
26日	岩根沢	5人
	大井沢	9人
28日	吉 川	15人
	本道寺	21人
29日	入 間	7人
	間 沢	37人
8月 1日	沼 山	18人
	綱 取	19人
2日	水 沢	27人
	小 山	13人
4日	海 味	28人

調査 題はどっになったのか?

新しい図書館について

? 西川町の図書館が問題
になっているようです
が、どうして?

答 交流センターあいべの
中にある町立図書館は
とてもせまいので、もっと広
い図書館がほしいという要望
が以前からありました。
それで、近松前町長は、何
とかして図書館を造りたいと
考えたようです。

? 平成19年の3月議会、「蔵
書も増え、手狭なことから現
在の図書館の移転を含めた、
新たな場所についても今後の
検討課題としたい。」と発言
しています。

? その後の経過はどのよ
うなものでしたか?

答 平成19年6月議会で、
「新しい小学校に町立
図書館を併設できないか。」
という質問が、ある議員から
出されました。

その後、統合小学校の建設
が決まり、議会に設計につい
ての説明があったときに、設
計図には図書室が広く設計さ
れていて「町立図書館」とし
ても使えるように設計したと
いう説明がありました。

? 学校の中に、町民が使
える図書館をつくって
はいけないのですか?

答 そんなことはありません
ん。文部科学省でも、
「学校の図書館は積極的に住
民に開放するように」と言っ
ていますから。

? では、何がいけなかつ
たのですか?

答 それは、町が、議員や
町民に誤解を与える説
明をしたことです。

? どんな説明でしたか?

答 「町立図書館」と「学
校図書館一般開放」の
違いを正しく説明しなかつた
ことです。

今回の議会だよりの一般質
問の中にも書かれています
「町立図書館」と「学校図書
館」は別々の法律によって運
営されているので、例えば
「学校の図書館」の中に「町
立図書館」を一緒に入れるこ
とは法律で禁止されているの
です。

? どうして、だめなん
ですか? きびしい法律で
すね。

答 そうは言っても、法律
ですからね…。守らな
いといけないのが法律です。

それなのに町は、議員や町民
に小学校の図書館と町立図書
館が統合されると、誤解を与
えるような説明を繰り返し行
っていたのです。

話しを聞いた議員も町民も、

追跡 あの問題

? 議会で、併設できない事実を知ったのはいつごろになりますか？

答 記録によると、平成23年3月議会中の予算特別委員会で分かったようですね。

教育委員会から、「町立図書館でない、各公立図書館から蔵書の貸し借りができないため、交流センター内にそのまま「町立図書館」を置く。そして、小学校は町民開放型図書館とする。」という説明がありました。

? それでどうなったのですか？

答 議員は、みんな驚きまじりました。「今までの説明では町立図書館は学校に移るこのことではなかったのか！」と強く抗議し、町は、説明不足だったとして、町長、教育長、教育文化課長、生涯学習主幹それぞれが議会に陳謝をしました。

町は、「町立図書館」と「学校図書館」を一本化することができないことは、はじめから知っていたようで、それでも何とか一本化したいと考えて国に特区の申請をしたことでした。

? 隠すことでもないので、どうして説明しなかったのかなあ？

答 そつですね。議会をもっと信頼してほしいものです。

? ところで、新しい小学校の図書館は、面積とか、町立図書館の本を移動することなどで、法律的に問題はないのですか？

答 その心配は全くありません。「学校図書館一般開放」として使用することについては問題はないうです。

? では、図書館は今まで以上使いやすいくなるのですか？

答 町では、検討委員会を作って、今年4月から

5回検討したようです。

その内容は、次の項目とおりです。

(1) 一般開放する小学校の利用、運営及びサービスに関すること

(2) 町立図書館の運営に関すること

(3) 交流センターあいべの活性化に関すること

検討委員会の結果は、あくまでも、原案であって決定ではないという説明を教育委員会から受けています。この度行われた、町長と語る会などでも町民の方のご意見をお聞きして、取り入れたい考えのようです。

議会としては、今後このような誤解が生まれないように、町民に情報を早く伝えるよう働きかけていかなければなりません。

そして、新しい小学校の図書館も、交流センター内の町立図書館も、町民のみなさんが喜んで使える図書館となるように、意見を述べていきます。

すっかり、交流センターあいべにある町立図書館は、新しい小学校の図書館に併設されると思っていました。

? どんな話だったのですか？

答 平成20年の5月と9月の議会全員協議会で、教育委員会と担当した設計事務所が、学校建設の設計について説明した中に「町立図書館を小学校に併設する」という言葉が何回か出てきています。

議員は、その時はじめ、小学校の図書館に町立図書館

を併設するという町の考え方を聞いたようです。

? 反対した議員はいなかったのですか？

答 いました。平成20年9月の全員協議会で、「交流センターへの図書館増築提案に対しては財政的にできないとする一方で、学校建設と併せて図書館も計画するというやり方は理解できない」として、2名の議員が反対意見を述べた記録があります。

? 議員は、みんな驚きまじりました。「今までの説明では町立図書館は学校に移るこのことではなかったのか！」と強く抗議し、町は、説明不足だったとして、町長、教育長、教育文化課長、生涯学習主幹それぞれが議会に陳謝をしました。

町は、「町立図書館」と「学校図書館」を一本化することができないことは、はじめから知っていたようで、それでも何とか一本化したいと考えて国に特区の申請をしたことでした。

町では、検討委員会を作って、今年4月から

平成22年度決算すべて全員賛成で認定

決算の詳細については、10月号の町報をご覧ください

9月5日から14日までの10日間、平成23年第3回定例会を開き、平成22年度一般会計、特別会計及び企業会計の決算を認定したほか、選挙管理委員会委員並びに補充員を全員賛成で可決、意見書1件を決定、請願4件については2件を採択、1件を不採択、1件を継続調査としました。

また、町長から提出された条例と補正予算の案件はそれぞれ原案のとおり可決しました。

◆監査委員の意見

平成22年度決算は、健全な行財政運営と予算の執行に努力されたことを評価する。歳入は、納税率98.7%で県内トップの座を保っている一方で、入湯税や軽自動車税などの納期限を守れない人がいることが残念。

町が支出するお金は大切な税金であるので、委託料や補助金、負担金などについても生きたお金となるよう、今後一層吟味していただきたい。

水道や路線バス、病院事業など町民の生活に欠かせない行政サービスは、今後とも合理的かつ公正な視点での経営としていただきたい。

◆財政健全判断報告

西川町の財政は健全段階にあります。

◇実質公債費比率 17.2%

◇将来負担比率 65.2%

一般会計、特別会計決算状況

会 計	歳入総額	歳出総額	差引残額	
一般会計	61億3,072万円	55億6,921万円	5億6,150万円	
特別会計	国民健康保険事業勘定	7億5,712万円	6億3,756万円	1億1,956万円
	施設勘定 (大井沢診療所)	333万円	326万円	7万円
	老人保健事業	109万円	109万円	0円
	簡易水道	2,946万円	2,452万円	494万円
	路線バス事業	5,563万円	5,562万円	1万円
	公共下水道事業	2億3,043万円	2億2,964万円	79万円
	農業集落排水事業	2,859万円	2,814万円	45万円
	寒河江ダム周辺施設管理事業	396万円	361万円	35万円
	後期高齢者医療	7,817万円	7,750万円	67万円
	介護保険	5億8,635万円	5億8,200万円	435万円
	宅地造成事業	8,741万円	0円	8,741万円
合 計	79億9,225万円	72億1,215万円	7億8,010万円	

※ 金額は、すべて万円未満を四捨五入して表示しています。

病院、水道事業会計決算状況

会 計	収 入	支 出	
病院事業会計	収益的	7億4,133万円	7億3,337万円
	資本的	563万円	4,638万円
水道事業会計	収益的	1億2,355万円	1億869万円
	資本的	2億5,557万円	3億1,376万円

※ 金額は、すべて万円未満を四捨五入して表示しています。

◎選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

委員

荒木 勉さん(沼山)

渋谷功雄さん(小山)

吉見文子さん(睦合)

佐藤和子さん(間沢)

補充員

①柴田庄一さん(睦合)

②岩本享子さん(岩根沢)

③古澤準一さん(綱取)

④佐藤達郎さん(大井沢)

※補充の順位順に掲載
(全員賛成)

◎西川町町税条例の一部を改正

改正内容

地方税法その他の法令の一部改正に伴う関係規定の改正

(賛成8・反対1)

◎災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正

改正内容

災害弔慰金の支給対象となる遺族の範囲に、同居又は生計を同じくしていた兄弟姉妹を加える改正
(全員賛成)

補正 予算

創意工夫プロジェクト支援事業で

農業青年を応援します



町の認定農業者となった、海味の奥山博元さんに対して、山形県と西川町合わせて事業費の2分の1の補助金996万5千円が支給されることになりました。

奥山さんは、中山間地での周年農業を目標に、水稲やにんにく、そば、山菜の他に育苗事業を展開するなどして、平成27年度には約1千700万円の収益を目標としています。町の農業活性化に期待します。

質疑・応答

質 JA西村山のトップセールスとは具体的に何か。

答 JAと寒河江・西村山1市4町の首長で2回、さくらんぼと果樹のPRを行った。

質 創意工夫プロジェクト事業の内容は。

質 創意工夫プロジェクトの補助金交付規程は。

答 事業主体は個人で、内容は水稲、にんにく、そば、山菜の各栽培や育苗事業等に対する補助事業で、事業費約2000万円に対して、県が3分の1、町が6分の1を補助するもの。

質 災害対策費300万円の追加について、町内の避難者数と補助の内容は何か。

答 あいべに2世帯5人、町営住宅に4人、個人住宅に3人。歳入は、福島県に、災害救助法に基づき申請する。

質 在宅酸素療養者への電気料補助の対象者は何人か。

答 今回補正の対象者は3、4級身体障害者の方で、対象者は8名となる。

質 放射能測定器購入の予定はどうか。

答 測定器は、注文が殺到していることから11月納品予定。今後の定期測定は、西川中学校、役場前公園、水沢小学校グラウンド、大井沢支所の4箇所を予定しているが、冬季は雪の状況で変更する場合もある。

質 測定器は、注文が殺到していることから11月納品予定。今後の定期測定は、西川中学校、役場前公園、水沢小学校グラウンド、大井沢支所の4箇所を予定しているが、冬季は雪の状況で変更する場合もある。

補正予算・主な内容

光ケーブル移設費	341万円
障害者自立支援給付支給システム開発委託費	39万円
在宅酸素療養者電気料金助成費	15万円
地域支え合い体制づくり事業補助金	90万円
森の恵み支援事業補助金	117万円
創意工夫プロジェクト支援事業補助金	996万円
道路補修費	160万円
住宅建築支援補助金	250万円
無蓋貯水有蓋化工事	100万円
統合小学校推進事業	180万円
統合小学校建設事業費	324万円
林道災害復旧事業費	505万円

補正予算

一般会計は、歳入歳出それぞれに4728万円を追加し47億1517万円としました。

主な内容

- **総務費** 光ケーブル移設等の追加、各種選挙経費確定による減額
- **民生費** 障害者自立支援給付費システム改修、地域支えあい体制作り事業補助の追加
- **農林水産業費** 山菜きのこ等団地形成事業補助、創意工夫プロジェクト支援事業補助の追加
- **土木費** 道路補修委託、住宅建築支援補助金、公園用乗用芝刈機購入費等を追加
- **消防費** 消火栓交換工事、無蓋貯水槽有蓋化工事、震災支援用物資等の追加
- **教育費** 統合小学校建設費、閉校式典費、町民スキー場施設修繕費等の追加
- **災害復旧費** 土木災害や農業施設災害、林道災害の復旧事業費等の追加

審査 しました

1 期目議員も鋭い質疑

決算特別委員会は、井場議長と監査委員である古澤議員を除いた8名の議員が委員となり、委員長に青山議員が選出されました。

審査は、3日間かけて担当課長からの説明を受け、総額で約83億円に及ぶ決算額について慎重に審査しました。

また、先の議会報告会で各地区からいただいた、さまざまなご意見やご質問の中には、決算審査の中で、町長や担当課長に質疑して回答を得たものもあります。



TDE水質管理施設

総務企画

質 今回の決算で、5億4千万円の剰余金がある。予算に余裕があったら、年度途中であっても、町民からの要望がありながら予算がつかなかった事業費に当ててはどうか。(宮林)

答 特別交付税は、年度末に確定なので、途中で全容を把握することはむずかしいが、ご

意見を参考にして住民の要望に出来るだけ答えるべく予算執行に当たりたい。

質 役場の電話代が年間で500万円以上かかっている。携帯電話の中には、契約会社が同じ場合、通話を無料サービスにしている会社もある。もっと削減についての見直しはできないか。

民間企業では、見直しをして半額まで削減しているところもある。(佐藤耕)

答 電話料については、NTT東日本と契約している。他社との契約について検討した経緯もあるが、ここ2年間は何もしていなかったので、十分に検討して契約を行ないたい。

町民税務

質 小山鉱山跡に関する委託料とは何か。(飯野)

答 TDEという会社に水質の管理を委託しており、会社で、1人雇用して、365日管理を行っている。

平成22年度 決算



質 ハザードマップについて、6月議会でも意見が出ていたが、予算執行していないのは残念であり、その理由は、

(佐藤耕)

答 県の地元説明が秋以降であったために、説明会も遅くなり、資料も作成する必要がなかった。

今年度は、大井沢地区のハザードマップ策定を予定している。

健康福祉

質 ブライダルサポートの事業成果はどうなっているか。

(横山)

答 昨年度から事業を実施している雪旅籠の灯りツアーで実施したが、追跡調査はしていないので、成果は把握していない。町内からの女性の参加はなく、今後の事業展開に苦慮している。

質 介護家族激励金は、年間1万円とあるが、あまりにも少ない。別な使い方をした方がよいのではないか。

(横山)

答 家族介護者の集いの折にでも、話し合ってみたい。

質 介護激励金は、以前から一律1万円であったのか。以前は介護年数によって異なっていたのでは。

(宮林)

答 平成17年の改正によって、一律1万円となった。改正前は、3年で3万円、5年で5

万円、7年以上10万円だったが、介護保険法で在宅であってもヘルパー派遣やおむつ支給などの介護サービスが受けられるようになったことから改正された。

考えているとのこと。そのため、町が不足する職員を補っている状況にある。

質 県補助金2億円の4割が林業の補助金になっている。

産業振興

質 農家経営相談員2名は、どのような分野の人が。

(伊藤)

答 1人は元天童市農協の販売部長で、野菜と果樹が専門。もう1人は畜産と山菜栽培を担当している。

質 2人は営農指導の役割を担っていると思うが、本来営農指導は農協が実施すべきではないのか。町と農協の連携で、もっと有効に人材活用すべきと考えるが。

(佐藤幸)

答 農協は、営農指導より販売活動に力を入れている状況にある。西川農協では、センター長を含めて営農指導ができる人材は3人だけであり、西川町は農産物の販売量が少ないので、指導員は配置しなくてもよいと

事業に対する補助金6千数百万円も入っている。町の林業総生産額は平成19年で3600万円となっているが、昨年度はいくらか。補助金の費用対効果は。

(横山)

答 補助金の大半は間伐に対するもので、山を守ることが重点となっている。国産木材の需要は少なく、製品化は厳しい状況にあるが、製品とすることの政策が必要と考えている。製材業からは乾燥施設整備の要望があるが、町単独では着手できないので広域的に声がけをしている。製品化が今後の課題と捉えている。

質 今、国では利用間伐を進めているが、補助事業では生産額が上がってこない。この補助金はどこに使っているのか。山林所有者にはほとんど入らない。

山にだけ金を使っても生産額

平成22年度 決算審査

は上がらないと思うが。

(横山)

答 間伐補助は、所有者にではなく、作業を行う森林組合に入っている。交付金も山の所有者には2分の1弱で、ほとんどは森林組合に入っている。

質 プレミアム付き商品券発行の400万円は、町内商店の売り上げ増加になっているのか。

また、補助金の効果の検証は行っているのか。(横山)

答 21年からの実施で、効果については把握していない。

月山フレカカードも実施しており、2つの事業が相まって、町内商店の愛用者が増えていると感じている。プレミアム付き商品券は、ガソリン代とか法事とか目的がある人が購入していると聞いており、日用品に使えるよう検討して行く。

質 町内商店は行政も相当てこ入れをして行くべき。商店の数も減ってきて、地域の方はたいへん不便な思いをしている。事業効果がなかったら別な事業

を行うなど、行政は、結果の検証を行い研究すべき。(横山)

答 プレミアム付き商品券は、総額2000万円の売り上げがあった事業。利用状況については、発行する時期など、商工会に検討をお願いしており、さらに効果が出るようにしていく。

質 商店がさびつき、買物がしにくい状況にある。商工会と町の商工観光課は、二人三脚で行っているが、町の補助金等については商工会員には情報が届かないことが多い。

更に連携を密にして、情報が届くようにしてほしい。(奥山)

答 国の補助金は複雑で、全容を把握するのは難しいが、それぞれ担当している職員は相談に応じることができる。

商工会との連携は、新規就業者等に対する国の補助が拡充されていることから、町と一緒に関係者に説明会を行った。金融対策も、商工会、振興協議会と一緒にしていきたい。

質 県の信用保証協会の保証内容とはどのような内容か。(奥山)

答 平成20年度から、借りる人は補償料を支払うことなく補償が受けられるという制度。補償料は町が支払い、借金をした人が支払うのは利息のみになった。

建設水道

質 宅地造成を進めているが、町外の町の職員には西川町に定住してもらいたい。職員も議員も現職中は元氣な町に言っているが、定年になると町外に出てしまう。

この町が足元から崩れることがないように、町づくりをがんばっていくべき。(奥山)

答 豊かな町、若者が定住できる町となるように進めているが、年々諸事情により町を出ていかざるを得ない人が増えている。強制はできないが、町から報酬を受けている人には、できるだけ定住し続けることをお願いしたい。

職員採用は、今年度から住所要件を西川町内に限ることとした。

質 公園管理委託料については、全体的に見直すべき。テニスコートも見直す必要はないのか。(宮林)

答 このテニスコートも利用者が減少しており、管理費の1割にも満たない収益となっている。公園の遊具も限界になっているところがあり、見直しが必要とは感じているが、公園設置補助は様々なものが当てられているので、対応が難しく、思うように進めることができない状況にある。

質 雪対策は町民にとって大きな問題。その雪対策会議が年一回では対応できないのでは。(佐藤耕)

答 区長に来てもらう会議は年一回だが、内部では高齢者や道路の除雪対策、また、雪下ろしをしないで済む屋根改修への補助や流雪溝整備などの一元の実施に向けて内部協議をして

質疑 応答

教育委員会

いる。

質

育英奨学金の利用内訳、一般会計からのこれまでの繰り出し総額、育英奨学金の創設時期、返済、一般会計以外からの繰出の考えの有無は。希望者が全員借りることができるのか。

(伊藤)

答

現在、高校生が2名、短大生が2名、専門学校1名、大学生7名の12名が利用している。

創設は昭和50年からで、全員から返済いただいている。

高校以外での利用者が増え、総額を越える運用がされているため、不足分は一般会計で補填する予定。

申請には所得制限があるが、これまでは、申請者全員に貸付をしている。

質

放課後こともプランは、250日以上開催しないと補助対象にならないとの説明があった。図書館の夜間利用の関係もあるが、必要な事業なので、

ぜひとも進めていただきたい。また、中学校給食の委託は、なくなるのか。

(佐藤幸)

答

継続したいので、制度を確認している。

放課後こともプランと図書館の夜間利用は、それぞれに単体での運営であるので問題はない。中学校の給食委託はなくなつて、統合小学校の調理室で中学校の分も作る親子給食という形になる。

簡易水道 特別会計

質

簡易水道は平成28年度までに上水道に統合されるということだが、経過が知りたい。また、今後どのような準備が必要となるのか。

(宮林)

答

水道事業会計になると、経費がかさむ可能性があり、料金の見直しが必要になると思われる。これは、厚生労働省の指導によるもので、町は、これから準備を進めるが、料金を据え置きできるように検討したい

病院事業会計

と考えている。

質

備品購入費予算額2600万円に対して、1900万円の出支となつているが、当初はもっと購入の予定があつたのか。

(伊藤)

答

部品の対応年数が過ぎたことなどの理由で購入予定していた機器はあつたが、壊れなかつたために購入しなかつた。できるだけ長持ちさせて使用するようにしている。また、機器の購入は、入札で、出来るだけ安く購入しているので不要額が出る。

一方で、気管支ビデオコープが壊れてしまったので、予定外に購入している。

診療に支障が生じないよう、緊急時のことなども考え、少し余裕のある予算を組んでいる。

質

人口透析で、町外の利用者は何%か。

(伊藤)

透析の機械は7台、25人程度が限度となつている。町

外利用者は約50%程度となっている。





佐藤 幸吉 議員

拠点地形成事業の見通しは

町長 町外への人口流出をくいとめ、人口流入を図りたい

質 過疎化における生き残る希望をどこに見出せばよいか、行政の立場から見解を示してほしい。

答 第5次総合計画では町民の豊かさを追求し、町民・地域・

町の自立を目指すこととしています。豊かさはこの町に住むことに誇りを持って生きることで、自立することは町民自身・地域自らが、この町・この地域に今後とも住み続け、より良くしようという決意、

信念を持つて行動することです。

き校舎解体後の住宅団地造成や、統合小学校側の間沢川橋までの住宅団地形成が計画されているようだが、定住化構想としての意気込みは感じるが住宅政策として、総花的ではないか。

答 定住対策や住宅確保対策のため、利用される方々の目的に応じ計画的に対策を講じています。学校跡地は、今後需要等を総合的に考慮し判断します。

答 安全・安心で利便性に優れていると共に交通・産業の要所として交流を図れる地域であると思います。

質 拠点地形成事業は青写真に基づいているのか。青写真があるとなれば今実施しているのは経過としてどの時点か。

答 拠点地形成計画は、平成21年9月の議会全員協議会で説明を行っており、平成22年度から平成27年度までの計画です。

「寒河江まで15分、格安家賃」など。企業を一軒一軒回るのは難しい希望者にめぐり合えるか程遠い。

答 住宅情報誌やインターネットを活用したPRを行っていきます。色刷りのパンフレットも出しましたので、寒河江工業団地振興協会の企業を回る予定です。

質 IJUVタンの取り組みや3・11東日本大震災による避難者に対する定住告知はどのように行っているのか。

答 ホームページや案内パンフレット、説明会等で広報を行なっています。



質 コーポ睦合の購入、海味二本松地内一般分譲地の造成、公営住宅並びに高齢者住宅の建設、更には空

質 拠点地形成事業における土地や地形並びに学校や公共施設更に生活に欠かせない店舗など効率的に機能する場所になっているか。

質 コーポ睦合の利用促進を図るためマス媒体として新聞折込やインターネットの活用をしたらどうか。キヤッチフレーズとして



宮林 昌弘 議員

西川町総合開発株式会社の経営を改善せよ

町長 社長として感じることが大いにあり、十分に精査し、対処する

質 町長が社長で、副町長が専務である総合開発株式会社で、

近年売上げが減少しているが、経営体質や人事体制に問題はないのか。

社員教育をどのように考えているか。

ので、不採算部門は廃止もしくは切り詰めできないか。

答 今年度、経営コンサルティング中なので、その結果も参考に事業の廃止又は縮小など検討し結論を出していきます。

質 売店を見ると、西川町独自の商品が少なく、農産加工や特産物の商品化、名物料理の開発が進んでいないので、総合産業化の具現化とあわせ、町民のアイデア募集や土産品コンクールを実施する考えはないか。

答 レストランで提供される料理の新規メニュー開発や農産物を活用した加工商品の開

発を計画しているの、その開発にぜひ町民の方からも参加して頂きたいと思っています。

質 町長はトップセールスマンとして販売戦略を立て、観光誘客の情報発信に努め

100万人交流人口確

保と魅力ある町づくりを進めることが急務である。

町長のトップセールスマンとしての考えと意気込みは。

答 トップセールスマンとして販売戦略を立て、観光誘客に努

め、経営改善に傾注すべきことは当然のことであり、町長として又社長として、職員の先頭に立ち、誠心誠意をもってトップセールスに努力してまいります。

答 昨年、私が社長に就いて感じるものが大いにあり、組織の問題、人事体制など、これらの問題に十分精査して対処していきます。

また社員研修や接客講習は十分とは思っていないので、全社員を対象に実施していきます。

質 本来、不採算部門についても町は業務委託しているが、設立後20年経過している





横山 修 議員

町立図書館設置の経緯に疑問

町長 学校図書館を開放することで進めてきた

廃屋撤去の条例の制定を

町長 今後の状況によっては検討も必要

質 町は、法的に設置できないことを知りつつ、町立図書館一元化を図ろうとした。法的根拠は。なぜこんな事業の進め方をしたのか。

答 現在の図書館は手狭で改善できないかと、多くの方々から意見をいただいています。また、財政的に公立図書館と学校図書館の両方を建設することもむずかしく、学校図書館を一般開放することで町民の方々が利用できる図書館環境を整備しようとして、統合小学校建設の設計段階から計画し、その設計も公開してきました。法的には、公立図書館

館の設置を定めている図書館法と学校図書館の設置を定める学校図書館法が関連法になります。公立図書館は学校図書館と一緒にならず、学校図書館は支障のない限度において開放できます。

質 説明先で、県には、一方の町民や議会に対しは、町立図書館と説明した。説明先で内容を変えたことは問題と思うが。

答 当初から学校図書館を開放することで進めてきていますので、説明先で内容は変えておりません。開放する学校図書館は、現

在の町立図書館と比べると面積や蔵書が格段に拡充されますので、町民の中核的位置づけになると説明してきました。

質 廃屋撤去について町はどんな対応をしてきたのか。具体例があれば示してほしい。

答 問沢市内の国道112号に隣接していた旧東和製作所の閉鎖された工場や、網取地内の空き家2軒の解体撤去について解体業者を斡旋し解体撤去した事例があります。当然、解体撤去費用は所有者等が負担して行ないました。

全な生活への阻害等により地域に悪影響を及ぼすことから条例を制定している自治体があります。

町も転出等で空き家が廃屋等になることが懸念されますが、地元の方から相談がありましたら随時対応していきたいと考えています。

質 景観支障防止条例を制定し対応している県がある。町でも条例を制定し対応する考えはないのか。

答 全国的には、景観への阻害や生活環境に対する影響、安



条例化については、今後の状況によって検討してまいります。町内の先進事例として大井沢地区では、離村する場合解体や維持管理の委託などの申合わせ事項を定めており、今年度から策定予定の各地域づくり計画でも検討していただきたいと思います。



佐藤 耕二 議員

女医「志田周子」の映像化は、元気のある町づくりの絶好の機会

町長 映像化は民間が主導すべきと考える



資源活用化実行委員会が設立され、普及啓発活動が展開されてきました。

生誕百周年を記念した講演会&コンサートを開催や、山形県の医師募集ポスターへの登用、県医師会講演会でのテーマ取り上げなどが行われてきました。

今年度も同実行委員会で各種啓蒙活動を予定しているの期待しているところですが。

質 資金を集めるためにどのような方法でスポンサーの募集をしていくのか。また、町の予算化と、県への働きかけをどのように考えているのか。

答 実行委員会では、映像化可能性調査

を行っており、調査を受けて実行委員会がどう判断するかがポイントですが、民間スポンサーの獲得や、広く寄付を募ることなど民間主導が基本だと思います。公費を支出するとすれば、町民の方々が納得できるようにならなければ支出できないと考えています。

県への対応は、実行委員会の動向を見極めてからだと思います。いずれにしても、ハードルがたくさんあり、慎重に対応していくべきだと思います。

質 町長がかかげている元気のある町づくりには、映像化の構想は絶好の機会であると思うが、町長の考えと意気込みは。

答 志田先生は、確かに町の宝であると思いますが、映像化されるとなればその効果は大きいものがあると考えています。

質 西川町の盛り上げはもろろん、県民にどうやって啓蒙、啓発していくのか。

答 昨年度、やまがたの宝「志田周子」





伊藤 哲治 議員

総合産業化を進めるために、もっとも大切なことは何か

町長 総合産業化の基本は農業



【質】 今後は、山菜、野菜等を利用した商品開発を進めていきます。

【質】 「西川町の特産品は何」と言われて、答えに窮する町民が大多数だと思つ。生産者が安心して意欲を持つて栽培に取り組めるよう、価格補償まで踏み込んで支援を！

【質】 「西川町の特産品は何」と言われて、答えに窮する町民が大多数だと思つ。生産者が安心して意欲を持つて栽培に取り組めるよう、価格補償まで踏み込んで支援を！

【質】 「西川町の特産品は何」と言われて、答えに窮する町民が大多数だと思つ。生産者が安心して意欲を持つて栽培に取り組めるよう、価格補償まで踏み込んで支援を！

【質】 「西川町の特産品は何」と言われて、答えに窮する町民が大多数だと思つ。生産者が安心して意欲を持つて栽培に取り組めるよう、価格補償まで踏み込んで支援を！

【質】 経営安定のための資金確保や保証料の補助、プレミアム付商品券の発行、月山フレシ事業支援、また町内企業訪問を実施して具体的な支援方針を示していきます。

【質】 総合産業化を目指すのに、町がやるべき事と第三セクターが果たすべき内容をどのように棲み分けしているのか。

【質】 町がやるべきこと、総合産業化の要である一次産業、農業振興そして生産量拡大に向けた支援であり、第三セクターは、農産物や町内産品の加工、販売、流通を行うことと理解しています。

【質】 西川町総合開発株式会社（株）の社長・専務を町長、副町長が担うことによるメリット・デメリットについて、経営陣に危機意識が無さ過ぎる。成功報酬主義で民間よりヘッドハンティングを早急にすべきと考えるが。

【質】 今年度経営コンサルティングを実施中なのでその結果を見極め、十分検討し対処していきます。

【質】 総合産業化を目指すといっているが、今年経過しているが、今もって具体的進展状況が見えない。どう認識し、今後総合産業化を推し進めるために、具体的にどのように展開を図っていくのか。

【質】 起点に生産、加工、販売まで手掛けることにより所得向上を目指すもので、これに観光等を結びつけ総合的な町の活性化を図ることであります。

【質】 総合産業化の考え方は、一次産業を

【質】 総合産業化の考え方は、一次産業を





飯野 咲子 議員

町立図書館は、町民が納得できる運営にすべき

町長 町民運営検討委員会の検討案を基に、広く意見を反映させていく

質 町民からの情報で、統合小学校に町立図書館は一緒に出来ない、今までどおり町立図書館は『あいべ』に、小学校図書館は一般開放型図書館として利用すると聞き驚いた。

答 これまで町民に対し、町立図書館は統合小学校内に設置すると説明してきた。

平成20年の統合小学校の設計段階で、すでに法的に一緒に建設できないと分かっていたと言いますが、今まで何の説明もなく進めてきたのはなぜか。

質 町立図書館を学校と一緒にするのはなく、当初から学校図書館を拡充して町民の方々に開放していく考え方で進めてきました。

答 学校図書館と町立図書館の並存についての経過説明不足は、3月の予算特別委員会でお詫びを申し上げたところです。

また、県立図書館等との相互貸借や、コピーサービスなどを維持するため町立図書館は『あいべ』内に存続させ、コピー等のサービスは学校図書館の方で一元化される予定です。『あいべ』内の町立図書館は、山菜学等の資料を設置し、間沢地区の山菜処や山菜を中心にした町づくりの動きと連動させると共に、生涯学習団体の事



務打合せや中高生の学習スペース確保等を行い、交流センターの活性化につながる機能を持たせていく検討をしています。

質 一般開放型とは、小学校図書館にあるものの範囲で行うこと

とをいうのではないのか。

答 学校図書館を一般開放することです。

質 町民に説明義務を果たすべき、今では多くの町民も知っているし、会計検査もあるだろうし、又、査察が入る事もあるのでは。

答 学校図書館や町立図書館の具体的な利用運営方法等については、町民の方々の声を反映させるため、町民運営検討委員会（委員22名）を設置し、5月から8月にかけて5回にわたり検討を行ってきました。この案を基に、関係機関や各地区での「町長と語る会」等で広く意見を反

質 統合小学校開校時には、一般開放型図書館として小学校図書館は開館するので、町立図書館については、性急に事を運ぶ事なく、慎重にすべきと考えるが。

答 基本的に、現在の町立図書館の蔵書は学校図書館に移動させ、拡充したサービスを提供できればと考えていますが、町民の方々のご意見も伺います。

映させると共に、町の広報紙等で周知していきます。

一連の取り組みは法に抵触するものではないので、その趣旨と対応していきます。



奥山 敏行 議員

光ファイバーで、町民に分かりやすい情報発信を

町長 情報の提供は重要なので、方法を検討する

質 西川町に布設された光ファイバー回線で、町内全体のインターネットは改善され、

地デジ難視聴地域も解消し、当初の目標は達成したが、これからの町民に向けた光の高度利用計画の内容は。

答 情報提供は、町民と協働していく上で基本的な部分であり重要な部分です。情報通信分野が急速に進展する中、将来を展望し、今後の町民への情報提供とその体制を含めた計画づくりを検討していく必要があります。

質 インターネットを使えないなど、光ファイバーの恩恵を受けることができない人も、テレビで見るこ

ができるようにするために、放送法を検討研究されているかどうか。

答 放送法を含め情報伝達方法は、今後とも調査検討していきます。

なお、従来の町報お知らせ、町長と語る会や説明会等は継続して実施していきます。

質 楽しいホームページは町のトップセールスとなる。現在、役場からバラバラに発信される情報を一つにまとめて発信できる体制にするために、大胆な機構改革を希望する。

答 情報の運用管理は、内容も複雑化し多岐にわたるため、今年度機構改革を行い、総

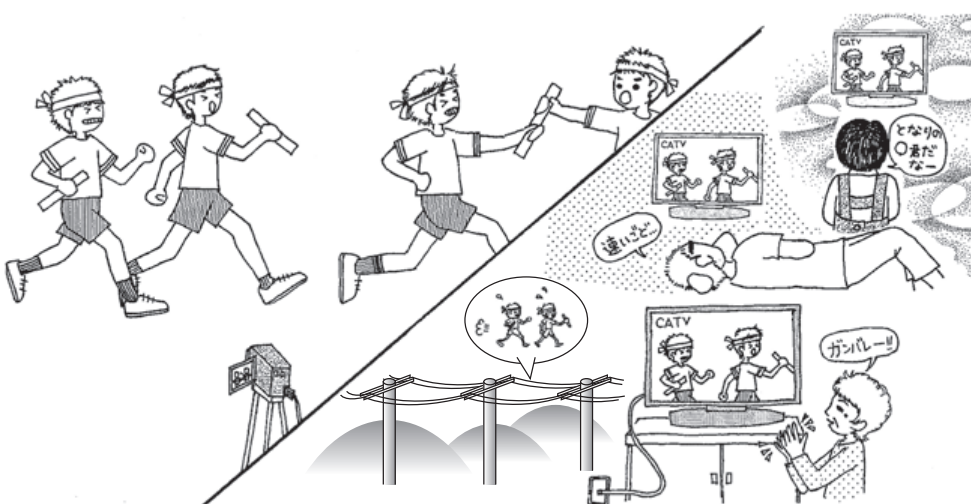
務企画課に情報推進係を新設し対応しています。

質 町内の共同アンテナ利用世帯数が65%を超えている。

共同アンテナグループと一般家庭を光で結び町全体を一つのネットワークにし、町からのテレビ放送で町議会や町内のイベントなどを茶の間で見る事ができれば『全町民が参加できる協働の町づくり』がはじまるのではないか。

答 町が放送を実施して行くためには、法的な問題や投資財源運営体制や経費など多くの検討すべき課題がありますので、今後、総合的に調査検討する

必要があると思います。



●共同受信によって、会場に行けなくても、お茶の間でお孫さんの活躍を観ることができる



東日本大震災の影響で、遅れていた国からの補助金交付が確定し、西川小学校のグラウンドとプールの工事が、10月中旬に開始されることになりました。

10月4日に、臨時議会を開催し、次の項目の案件について、全て全員賛成で可決しました。

(金額は税込)

1. 西川小学校厨房内備品の購入 (小学校と中学校の給食に必要な調理器具や食器の購入)	
金額	870万4,500円
購入先	株式会社中西製作所(山形市)
2. スクールバス・マイクロバス(29人乗)1台の購入	
金額	714万円
購入先	山形トヨタ自動車株式会社 寒河江支店
3. スクールバス・中型バス(46人乗)1台の購入	
金額	1,333万5,000円
購入先	山形いすゞ自動車株式会社 寒河江営業所
4. 西川小学校グラウンド整備工事	
金額	6,720万円
請負業者	株式会社 佐藤建設(西川町入間)
5. 西川小学校プール建設	
金額	1億3,200万円
請負業者	株式会社 高松木材(寒河江市)

西川小学校のグラウンドとプールの工事がはじまります

9月定例議会

決定意見書と
採択された請願

◎日本海国土軸の構築と社会
資本整備を求める意見書

提出者

議会運営委員長 古澤 俊一

◎免税軽油制度の継続を求
める請願

提出者

東北索道協会山形県地区部会長
佐藤藤左衛門

月山観光開発株式会社

代表取締役社長 宮林 伸一

紹介議員 宮林 昌弘

◎地方財政の充実強化を求
める意見書提出の請願

提出者

連合山形北西村山地域協議会

議長 田川 健一
紹介議員 佐藤 幸吉

議会の動き

議会運営委員会

委員長	古澤 俊一
副委員長	青山 知教
委員	奥山 敏行
	佐藤 幸吉
オブザーバー	
議長	井場 榮治
副議長	宮林 昌弘

■6月24日

□議会報告会
報告会を7月25日から開催することの原案を作成しました。

□災害ボランティア

社会福祉協議会が実施する災害ボランティアに参加することにしましたが、申込者が多くて、1回目に3名だけの参加となりました。

□議員報酬

報酬の取り扱いについて協議しました。

■7月12日

□臨時議会
第2回臨時会（7月15日）の運営を決定しました。

□議会報告会
報告会の実施方法について原案を作成しました。

■8月24日

□定例議会
第3回定例会（9月5日～14日）の運営を決定しました。

■9月9日

□議会報告会
報告会での質問や意見に対する取り扱いと、回答の周知方法について協議しました。

来年の開催時期についても今年と同じく7月に開催することを確認しました。

□意見書

「日本海国土軸の構築と社会資本整備を求める意見書」を9月議会に提出することになりました。

■9月30日

□臨時議会
第3回臨時会（10月4日）の運営を決定しました。

議会全員協議会

■6月29日

□議会報告会
報告会の開催内容の確認を行いました。

□申し合わせ事項
議員の申し合わせ事項について協議しました。

■7月15日

□議会報告会
報告会の進め方を協議しました。

■7月28日

□図書館利用
利用方法についての説明を聞き、今後のあり方について意見を交換しました。

■9月9日

□町からの事業説明
次の事項について説明があり、質疑を行いました。

- ①平成22年度健全化判断比率及び資金不足率の報告

対する県の考え方

■10月4日

□視察研修会
常任委員会の合同研修会を10月25日から27日までの2泊3日で、小水力発電所の視察研修を行うことに決定しました。

- ②新図書館の利用、運営方法などの考え方
- ③町民体育館の大規模修繕（耐震化にかかる問題）
- ④町長と語る会の実施計画
- ⑤保健医療福祉計画策定の進め方
- ⑥西川小学校整備の進行状況
- ⑦国民健康保険の広域化に



全員協議会



8月26日 東京で、国会議員に「過疎地域自立促進」の要望をしました。

総務厚生 常任委員会

委員長	青山 知教
副委員長	佐藤 耕二
委員	古澤 俊一
	奥山 敏行
	横山 修

7月12日

□事務調査

新図書館ガイドラインと来年度からの小中学校の通学路の安全対策の説明を受け、問題や課題についての質疑を行い、今後の対応について協議しました。

9月9日

□請願の審査

第3回定例会で付託された次の請願を審査しました。

「地方財政の充実・強化を求める意見書提出の請願」
(全員賛成で採択)

「30人以下学級実現、義務教育国庫負担制度拡充に関する意見書の提出に関する請願」
(賛成少数で不採択)

委員会では、今年度35人以下学級実現のための法改正がされたところであり、本請願は時期尚早ではないかとの意見が出されました。

「『所得税法第56条の廃止』に関する意見書の提出を求める請願」
(継続調査)

請願の趣旨について明確な説明が得られなかったために、引き続き調査を行うことになりました。

産業建設 常任委員会

委員長	佐藤 幸吉
副委員長	伊藤 哲治
委員	井場 榮治
	宮林 昌弘
	飯野 咲子

9月9日

□請願の審査

第3回定例会で付託された次の請願を審査しました。
「免税軽油制度の継続を求める請願」
(全員賛成で採択)

□事務調査

総合産業化政策についての調査を行いました。産業振興課長と担当係長から、総合産業の具現化の行程目標についての説明を受け、意見交換を行いました。

9月30日

□事務調査

総合産業化の課題整理を行いました。

広報公聴 常任委員会

委員長	奥山 敏行
副委員長	横山 修
委員	飯野 咲子
	佐藤 耕二

7月20日～21日

□行政視察

議会だよりと議会報告会の取組みについて、川西町と庄内町議会に出向き研修を行いました。特に議会だよりについては、たいへん実のある研修となりました。

8月17日

議会報告会で頂戴したご意見やご要望を、各項目ごとに整理する作業を行いました。

議会だより編集会議

- 8月30日 (レアウト会議)
- 9月12日 (原稿確認)
- 9月16日 (〃)
- 9月27日 (〃)
- 10月4日 (初校)
- 10月6日 (二校)
- 10月8日 (三校)

手作りの 投票箱を議会に寄贈

月山やまぢから研究会(渡辺敏博代表)より、間伐材を利用した投票箱が議会に寄贈されました。議会の投票による採決に利用させていただきます。



庄内町での研修

『古道』シリーズ 2

道智通りの歴史



大井沢

志田 堅太郎 さん (中村北町内会)



道智上人座像 (大井沢)

白鷹町より、木川、古寺、大井沢に通じるこの道は、応永年間(1394~1427)道智上人が切り開いた湯殿山参詣人の道と伝えられている。会津、米沢、長井方面からの参詣者は、鮎貝の相應院に集まり、そこで集団を作り、人里まな難所を幾足の草鞋とおにぎりを背負い、菅笠をかぶり湯殿の仏を信じ、大井沢に到るこの道を「道智通り」と云う。道智は、弘法大師開山以来、無位の寺であった金色山大日寺をして湯殿山正別当の寺として中興した方である。

道智通り約45キロ、この間、茎の峰峠(800m)、山毛樺峠(700m)地蔵峠(650m)と3つの峠を越えなければならず、開削事業は容易ではなく、道智自ら斧を握り続けたと言う。この道の完成により、6月から8月まで、7千人余人、多い年にはその数倍の行者が訪れるようになり、大日寺の隆盛と地域経済に大きな貢献となった。しかし、山道は痛みが激しく、維持管理の責任がある大日寺は、五百川郷諸村において人夫を出し、山守として2人を常置、1両2分を大庄屋に渡し、この道の監視にあたってもらう事にし、草・萱刈、橋の修理材の代償として、村内安全のお守りを配ることを約束している。

議会へのおさそい
皆さん傍聴してみませんか
インターネットでもご覧いただけます
次回定例会は12月です

78号の表紙
町民力ヌー大会
平成4年のべにはな国体に向けて西川町に力ヌー競技が誘致され、素晴らしい成績で優勝を飾って以来、ずっと続く町民力ヌー大会が今年も開催され、小さな子どもから大人まで、秋晴れの中で力ヌーを楽しみました。
小さな子供たちは、将来の大会選手をめざして目を輝かせ大奮闘の後、12人乗りのドラゴンカヌーを優雅に楽しんでいました。

●ご感想お寄せください。

《発行・編集責任者》	議長 井場 榮治
《編集委員》	委員長 奥山 敏行
	副委員長 横山 修
	委員 飯野 咲子
	委員 佐藤 耕二

編集後記
今年の夏のなんと暑かったこと。一転、9月に入るや、台風による、すさまじい豪雨災害。異常気象と一言では片付けられないようなこれまでの自然災害の状況ですね。そして、猛暑から一気に気温が下がった今日この頃、体調には十分気をつけて過ごしたいものです。
第2回の議会報告会では具体的に、積極的な質問や意見を拝聴しました。速やかに対応して参ります。
9月定例会も活発な意見、討論が交わされました。
7月には、女子サッカーチームの快挙の朗報が日本列島を、世界を駆け巡りました。夢に向かつて、絶対に、あきらめない。私たちも見習って進みたいものです。(飯野咲子)